

「風林火山」の真実。日本の兵法思想の礎となった書物の数奇な運命

『甲陽軍鑑』の悲劇

闇に葬られた信玄の兵書

浅野裕一・浅野史拡

2016年7月22日刊行予定 四六判・上製 256頁

本体定価 2400円 ISBN978-4-906791-59-0 C0021

桶狭間の戦い、長篠合戦……闇に葬られた「敗者の魂の叫び」が、戦国合戦の異なった絵柄を浮かび上がらせる。信玄の側近によって、滅亡の渦中に記録された『甲陽軍鑑』。日本の兵法思想の礎を築いたこの書は、明治期以来、戦後に至るまで偽書の汚名を着せられてきた。『甲陽軍鑑』が語る戦闘の美学とは、武士のあるべき姿とはどんなものだったのか。そして、「歴史の真実」とは何か



浅野裕一（あさの・ゆういち）

1946年、仙台市生まれ。東北大学名誉教授。中国哲学専攻。
『黄老道の成立と展開』（1992）、『孔子神話』（97）、『孫子』（98）、『古代中国の言語哲学』（2003）、『諸子百家』（2004）、『古代中国の宇宙論』（2008）ほか。

浅野史拡（あさの・ふみひろ）

1980年、島根県出雲市生まれ。2009年、東北学院大学大学院文学研究科博士前期課程修了（日本中世史専攻）。

ぷねうま舎 〒162-0805 東京都新宿区矢来町122 第二矢来ビル3F Tel.03-5228-5842

締め切り 7月13日 Fax.03-5228-5843



目次

第一部 『甲陽軍鑑』の兵学思想

——上方兵学との対比——

- 第一章 中国兵学と日本兵学
- 第二章 武田信玄の美学
- 第三章 織田信長への非難
- 第四章 悪しき上方の風土
- 第五章 豊臣秀吉の反論
- 第六章 徳川家康は希望の星
- 第七章 甲州流兵学からロシア兵学へ

第二部 『甲陽軍鑑』偽書説をめぐる研究史

——偽書説はなぜ生まれたか——

- 第一章 偽書の烙印——『甲陽軍鑑』悲劇の開始
- 第二章 偽書説をめぐる戦前の研究——逸足のジレンマ
- 第三章 『甲陽軍鑑』の戦後——偽書説の守護者たち
- 第四章 不都合な史料——菅助に戸惑う研究者たち
- 第五章 名誉回復の兆し——もう一つの桶狭間

ぷねうま舎

浅野裕一・浅野史拡

『甲陽軍鑑』の悲劇

闇に葬られた信玄の兵書

四六判・上製 256頁 本体定価 2400円 ISBN978-4-906791-59-0 C0021

貴店印

新刊委託

冊